

# 令和 6 年度補正予算案のポイント

こどもまんなか  
こども家庭庁

## 「すべての子ども・若者の幸せと未来を守る」との決意の下、取組を強化・加速

R6補正予算案: 4,335億円

### 「こどもまんなか」のバージョンアップ (14億円)

- こどもまんなかアクションの加速等
- こども・若者視点の現場主義の強化
  - ・ 審議会等の委員へのこども・若者の登用推進等
- こども家庭庁におけるEBPMの強化 等

### 地域の若者の将来設計の可能性の最大化 (170億円)

- 地域の若者のライフデザイン(将来設計)への支援(95億円)
  - ・ 地域少子化交付金の拡充と要件の大幅な簡素化
  - ・ 民間企業と連携した地域の若者のライフデザイン支援を開始
  - ・ 若年世代を対象としたプレコンセプションケアの推進 等
- 地域で安心して妊娠・出産できる環境の整備(46億円)
  - ・ 遠方で妊婦健診を受診する妊婦のための支援事業の創設
  - ・ 産後ケア施設の改修費等の支援 等
- 誰でも地域で無理なく子育てできる社会への転換(29億円)
  - ・ 全国各地の放課後児童クラブの拡充・強化
  - ・ 新たなアプローチで放課後待機児童の解消を目指すモデル事業
  - ・ 入院中のこどもの家族の付添いの環境改善 等

### 未来を担うこどものための質の高い成育環境の提供

- 多様で質の高い保育の持続的な確保(2,117億円) (2,929億円)
  - ・ 保育士等の処遇の抜本的な改善
  - ・ 利用者の保育所等の選択に資する情報提供の充実
  - ・ 「はじめの100か月の育ちビジョン」の推進
  - ・ 保育の提供体制の確保
  - ・ 過疎地域における保育機能の確保・強化 等
- こどもの安心・安全の確保等(812億円)
  - ・ 改正子ども・子育て支援法及び子ども性暴力防止法の円滑な施行に向けた準備
  - ・ こどもの居場所づくりへの支援の強化
  - ・ 保育所等の防災・減災対策の強化・加速 等

### すべてのこどもの幸せを守り抜く (343億円)

- いじめ・不登校対策等の強化(8億円)
  - ・ こどもの悩みの受け止めの強化に向けた新たな取組
  - ・ 学校外からのアプローチでのいじめ解消
  - ・ 地域における新たな不登校対策
- ひとり親家庭等への支援の強化(25億円)
  - ・ 民間企業と協働したひとり親家庭の就業・定着の一体的支援の開始 等
- 困難に直面するこどもの幸せを守り抜く(311億円)
  - ・ 地域におけるこどもホスピスへの支援を新たに開始
  - ・ ヤングケアラー支援の強化
  - ・ 児童虐待リスク情報の共有の迅速化、児童福祉施設等の整備促進
  - ・ 共働き里親等への支援 等

このほか、旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給、周知広報、円滑申請のためのサポート体制の構築 (878億円)

「こどもまんなか」のバージョンアップ

- 1. こどもまんなかアクションの加速等 6.7億円
  - (1) 社会全体で子育てを応援する環境・意識の醸成
- 2. こども・若者視点の現場主義の強化 6.8億円
  - (1) こども・子育て支援の現場からの「声」を直接聞く取組の強化
  - (2) こども・若者の意見聴取に係る新たな仕組みの導入等 1.7億円
  - (3) 若者団体への支援等 0.4億円
  - (4) こどもの支援ニーズを把握するこどもデータ連携の推進 4.7億円
- 3. こども家庭庁におけるEBPMの強化等 0.2億円
  - (1) 事業全体についてのEBPMの導入等
  - (2) アカデミア連携型のリサーチデザインとEBPMの実施 0.2億円

未来を担うこどものための質の高い成育環境の提供

- 1. 多様で質の高い保育の持続的な確保 2,117億円
  - (1) 保育士等の処遇の抜本的な改善 1,150億円
  - (2) 利用者の保育所等の選択に資する情報提供の充実 1.5億円
  - (3) 「はじめての100か月の育ちビジョン」の推進 1.4億円
  - (4) 保育の提供体制の確保 840億円
  - (5) 過疎地域における保育機能の確保・強化 2.9億円
  - (6) 保育分野のデジタル化の推進 81億円
- 2. こどもの安心・安全の確保等 812億円
  - (1) 改正子ども・子育て支援法及び子ども性暴力防止法の円滑な施行に向けた準備 722億円
  - (2) こどもの居場所づくりへの支援の強化 4億円
  - (3) 保育所等の防災・減災対策の強化・加速等 86億円

地域の若者の将来設計の可能性の最大化

- 1. 地域の若者のライフデザイン(将来設計)への支援 95億円
  - (1) 地方の少子化対策事業への支援の拡充 83億円
  - (2) 民間企業等と連携したライフデザイン支援等 7億円
  - (3) 若年世代を対象としたプレコンセプションケアの推進等 5億円
- 2. 地域で安心して妊娠・出産できる環境の整備 46億円
  - (1) 妊娠・出産時の不安と負担の解消に向けた取組の強化 18億円
    - ・ 遠方で妊婦健診を受診する妊婦のための支援事業の創設
    - ・ 産後ケア施設の改修費等の支援
    - ・ 母子保健分野のデジタル化による負担軽減
  - (2) 新生児・乳幼児の保健の強化 27億円
    - ・ 「1か月児・5歳児」健康診査等支援
    - ・ 新生児マススクリーニング検査の強化
- 3. 誰でも地域で無理なく子育てできる社会への転換 29億円
  - (1) 放課後児童クラブの待機児童問題への対応 22億円
  - (2) 入院中のこどもの家族の付添いの環境改善 1.9億円

すべてのこどもの幸せを守り抜く

- 1. いじめ・不登校対策等の強化 8億円
  - (1) こどもの悩みを受け止め、つなぐ場に向けた取組 1億円
  - (2) 学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくり 4.1億円
  - (3) 地域における新たな不登校対策(不登校のこどもへの切れ目のない支援) 2.6億円
- 2. ひとり親家庭等への支援の強化 25億円
  - (1) 民間企業と協働したひとり親家庭の就業・定着の一体的支援 1.8億円
  - (2) ひとり親家庭に対するワンストップ相談体制の構築等 3.2億円
  - (3) こども食堂等を広域的に支援する民間団体の取組への支援 19億円
- 3. 困難に直面するこどもの幸せを守り抜く 311億円
  - (1) 地域におけるこどもホスピスへの支援 3億円
  - (2) ヤングケアラー支援の強化 7.3億円
  - (3) 児童相談所等のICT化等を通じた児童相談所の体制強化 7.6億円
  - (4) 児童福祉施設等の整備促進 102億円
  - (5) こども家庭センター設置・機能強化 1.1億円
  - (6) 児童養護施設等・障害児施設措置費の person 費の拡充等 174億円
  - (7) 児童養護施設退所者等に対する自立支援 4.7億円
  - (8) 共働き里親等への支援 0.6億円

このほか、旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者等に対する補償金等の支給、周知広報、円滑申請のためのサポート体制の構築 878億円